

月日	支出 書 番号	摘 要	収入額	支払額	残額	費 目								
						研修会・ 会議費	資料購入及 び作成費	広報費	使用料及 び借上料	通信運搬費	旅費及び 交通費	事務雑費	会派共用費	
4/15	0001	政務活動費(4~6月分)	210,000		210,000									
7/15	0002	政務活動費(7~9月分)	210,000		420,000									
10/14	0003	政務活動費(10~12月分)	210,000		630,000									
1/13	0004	政務活動費(1~3月分)	210,000		840,000									
10/28	0005	広報費(印刷郵便代)		657,273	188,727			657,273						
	0006													
	0007													
	0008													
	0009													
	0010													
	0011													
	0012													
	0013													
	0014													
	0015													
	0016													
	0017													
	0018													
	0019													
	0020													

預金利息

合 計 0 0 657,273 0 0 0 0 0

政 務 活 動 費 支 出 書

支出書番号

5

会 派 名	市民連合議員団	令和 4 年 10 月 28 日
		令和 4 年度
議 員 名	岩 為 俊	費 目 広報費

下記の金額を支出する。

	百	拾	万	千	百	拾	円
金額	4	6	5	1	2	7	3

ただし、活動報告(印刷、郵送料)

備 考

・按分による場合 政務活動費充当額 (上限額がある場合その額)

420,000 円

支払い額 按分率
円 × / = 円

・広報紙については、支出書に印刷物見本を添付すること。

・図書を購入する場合は、図書名を明記すること。

図書名 ()

(参考様式)

領 収 書 等 貼 付 用 紙

支出書番号

5



5 6 9

郵便区内特別

高槻市

高槻市議会議員

岩 ためとし

事務所 高槻市成合中の町10番5号
〒569-1015 TEL 072 (687) 4485
072 (688) 0237

(参考様式)

領 収 書 等 貼 付 用 紙

支出書番号

5

領収書

岩 為 俊 様

[別納引受]		
区内特別基 (定)	15.0g	
@73	4,401通	¥321,273
小 計		¥321,273
郵便物引受合計通数	4,401通	
課税計 (10%)		¥321,273
(内消費税等)		¥29,206
非課税計		¥0

合計	¥321,273
お預り金額	¥330,000
おつり	¥8,727

印紙税申告納
付につき廻町
税務署承認済

〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時：2022年10月28日 17:37
発行No. 221028A4113 端N68箱01
連絡先：高槻郵便局
TEL:0570-035-986

領 収 証

高槻市議会議員岩為俊様

令和4年10月27日

¥330,000

上記の金額正に領収いたしました

但し 議会報告 11,000部印刷紙
封筒 11,000部印刷紙



株式会社 邦文社

〒533-0011 大阪市東淀川区大桐1-5-2
TEL(06)6327-3332 FAX(06)6329-9895

政務活動費により作成しています



高槻市議会議員

岩 ためとし

いわ

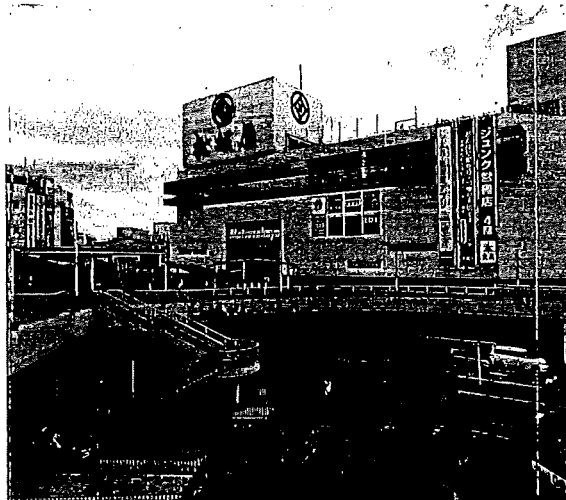
事務所：高槻市成合中の町10番5号 ☎ 687-4485

議会報告

通算 59 号
令和 4 年
秋 期 号

JR高槻駅南地区について
令和4年6月24日 本会議 一般質問

私は、令和3年3月1日、濱田市長の施政方針で、JR高槻駅南については、「権利者が行う再整備に向けた検討会の取組みを支援する」と表明。私は、この検討会への支援強く求めた。本年令和4年の施政方針では、濱田市長の3期4年目、最終年次の方針で、JR高槻南については、本市の中核都市拠点にふさわしい都市機能の誘導が図られるよう検討会の取組みを支援すると決意を表明。私は、高槻の都市心臓部として阪急高槻市駅間



再整備検討進むJR高槻駅南地区

高槻は
いきる

35万都市高槻の心臓部 再整備急げ

JR高槻駅南—センター街—阪急高槻市駅

新しいにぎわい起す

これこそ政治家濱田剛史の仕事だ

先頭に立って取り組む決意、市長に問う

を含めた、新しい発展、生きる高槻をつくる。これこそ、濱田剛史、政治家として、あなたが腹括つての取組む仕事だと強く指摘した。

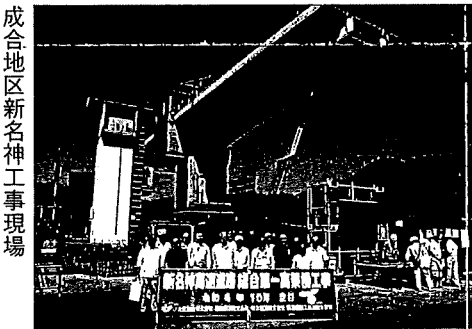


JR高槻～阪急つなぐセンター街

高槻は
いきる

新名神 インターチェンジ⇕ JR高槻駅直結で 新しいにぎわい起す

4車線化で交通渋滞解消



成合地区新名神工事現場

新名神と道路行政について
令和4年6月24日 一般質問

新名神高速道路の開通目標令和5年から9年に見直された。成合から淀川、枚方への梶原トンネルに向けた高架橋工事が行われている。

新名神インター完成後の市内中心部への流入、4車線化での整備が必要と指摘、別所より現名神迄の大阪府道伏見柳谷線の改良を積極的に取組むよう、市長の決意求めた。

がんのための 論 政

新しいにぎわいに 市営バス フル回転

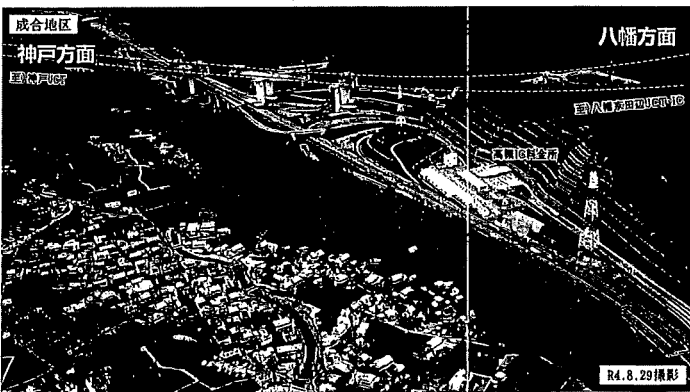


お詫び

今号は秋期号、全て現場を見て、議会発言してきました。不行届きの点はどうかお許し下さい。

令和4年9月1日、令和3年度自動車運送事業年報が配布された。厳しい公営バス環境の中で、市営バス事業何とか頑張つて、市政運営の大黒柱として、ふんばっている。

高槻が生きるためには、市営バスは、絶対手ばなせない道具。それは高槻市政の宿命となってきた。開きなおつて、市営バスはこれからの重要事業となつて、にぎわい高槻、市民が全て、中心市街地に集まるよう、フル回転の活躍を期待したい。市営バスの生きる道。



R4.8.29撮影

議会報告にあたって

北大阪で最も低い市税収入、対策必要
 例年9月議会は、前年度の会計歳入歳出決算認定議案が付託され、本会議での質疑を経て、10月に開く決算審査特別委員会の設置決定、5日間の審査を経て、12月市議会本会議へその結果が報告、可決認定する。
 濱田市長の3期最終年度の決算委員会であるが、彼の健全な財政運営は、市議会の圧倒的な評価を得ての決算委員会となる。

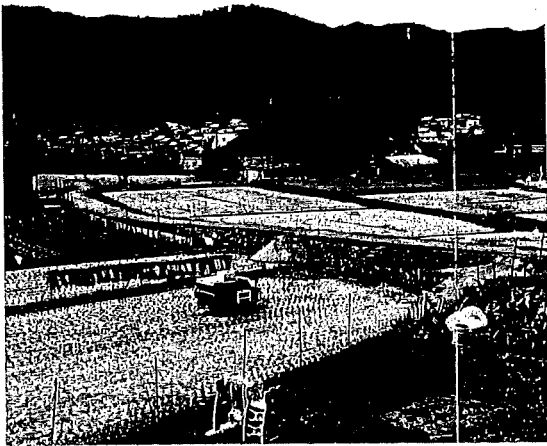
市長の決意 問う

都市農業継続へ 農村・農民は 今、何を求めるか

都市農業の振興について

令和4年6月24日 本会議 一般質問

私は、高槻の一人の農民として、常に日本の農業の中で高槻の現実を直視し、特に成長する大都市の中で埋没しかねない農業の実態を認識し、厳しい環境の下での農業に打ちこんできた。直面した課題については、常に市



のどかな農村秋本番、原地区、しっかり守る

一方、総務消防委員会協議会へは、濱田市政の看板政策、「みらいのための経営革新」に向けた改革成果が報告された。令和元年〜3年度間の財政成果は、45億円との報告である。彼の努力を評価したい。
 しかし、私は、北大阪、豊中、吹田、茨木各市の財政収入、市税にあっては、市民一人当り、最低であり、人口も唯一減少傾向だ。この残念な現実を直視して今後の企業誘致等しっかり税収対策求めたい。12月議会の一般質問で厳しく問い直す。



小5年生 田植え3年ぶり、濱田市長も一緒に 6月10日



自分達が植えた稲を刈り取る 10月13日

議会ですべてきた。令和時代の農業、どうあるべきかと問い、その検討を市長に強く求めてきた。高槻は稲作中心の中で、この安定した継続ができなければ、緑豊かな広大な都市の中の農業は絶対守れないと強く指摘し、市長の決意を求めた。
 原地区では、原里づくり連絡会の勉強会が行われている。その内容を質問した。関係農民の努力に強く期待し、新しい農業の姿を示してほしい。
 今日、農村における後継者問題が最大の課題だ。私から、若い後継者勉強会育成と農村コミュニティづくりを提案した。今日の農業の担い手は団塊世代、70才、75才が中心。その子供達は丁度50才前後、彼らの勉強会へ市長の支援を求めた。

市長の決意 問う

広域行政 島本町との連携 今何をめざすか

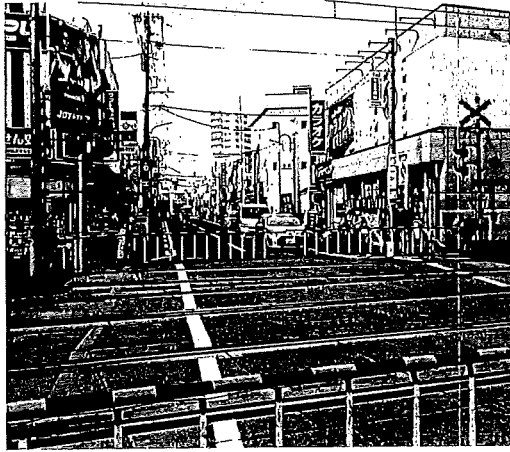


令和4年9月13日
 市議会総務消防委員会に、高槻市島本町消防指令協議会の設置に関する協議についての議案が付託され、各委員より意見

市長の決意 問う

富田地区まちづくり JR富田駅南へ 新しい基軸は

富田地区まちづくり基本構想について
 令和4年6月24日 本会議 一般質問
 富田地区まちづくり基本構想について
 6月16日の総務消防委員会に報告された。今日迄多くの議員から質問、指摘が



富田阪急踏切からJR高槻駅前商店街臨む

表明。島本町との広域連携は、平成27年旅券発給事務から、し尿処理に係る事務委託、公立図書館広域利用等実施した。消防行政の広域連携については、令和2年に島本町長より高槻市長に協議の申し入れがあり、その後市議会地方分権推進特別委員会に報告され、濱田市長の施の方針で市町の消防システムの検討を表明、今回の議案となった。各委員それぞれ疑問点指摘され、私からは島本町議会の今に至る不可解な発言等を考え、議案には問題なしといえ、島本町には、慎重に対応するよう求め、全員賛成。



美しく出来上がった富田芝生線 さらに栄町へ170m建設必要

重ねられ、私も令和3年12月6日本会議一般質問に立ち、新しい構想より、長年の交通課題の解決が先決だとの指摘、取組みを求めた。そして、今回、今日迄の複雑な状況も関係職員、大変努力されたが、私は、市は何を指すか、何を住民に訴えようとしているか明確でないと指摘し、この構想のまちづくりの軸となる動線は何か質問、私から、美しくできあがった富田芝生線を中心に、さらに府道南へ170mの道路新設で寿栄コミュニティ地区との直結が必要だと指摘、市長の決意求めた。